

名古屋オルガンの秋2009

10/24日

カトリック
五反城教会

メゾソプラノ&オルガン 「聖母賛歌」

18:00開演 コンサート

音を纏った祈りを歌うアグネス・エルケンス、彼女の声は純粋な祈りの響きとして聴く人の心へと伝わります。10月は聖母マリアを記念する月でもあります。聖母マリアへの祈りのひとときを、中世と現代、和と洋の響きでお過ごしください。

- ◆ J. S. バッハ 我が魂は主を崇め BWV 733
- ◆ 高田三郎 雅楽の旋法による聖母賛歌(メゾ・ソプラノ・ソロとオルガン版)
- ◆ ビンゲンのヒルデガルト マリアの賛歌
- ◆ アルフォンソ10世 聖母マリア頌歌集
- ◆ Th.マイヤー=フィービヒ グレゴリオ聖歌とオルガンの為のアヴェ・マリス・ステラ(めでたし、海の星)

メゾソプラノ ◆ アグネス・エルケンス(ケルン) オルガン ◆ 吉田文

11/8日

カトリック
五反城教会

チューバ&オルガン 「バッハ&クーツィール」

15:30開演 コンサート

極めて稀なチューバとオルガンのコンビネーション、その深い響きは独特の聴体験へ聴く人をいざないます。バロックを代表する大バッハ(1685-1750)の作品、そして現代吹奏楽の巨匠クーツィール(1911-2006)のミラクルな音世界をお楽しみください。

- ◆ J. S. バッハ 前奏曲とフーガ 短調 BWV 548 (Org. solo)
おお、人よ、汝の大きいなる罪を嘆け BWV 622 (Tuba&Org.)
- ◆ J. クーツィール それは死という名の刈りびと "Es ist ein Schnitter, der heisst Tod" (Tuba&Org.)
コンチェルティーノ op.77 (Tuba&Org.) 他

チューバ ◆ 北畑 葉佑 オルガン ◆ 吉田文

11/15日

ロゴス
センター

みんなで弾こう、パイプオルガン!

ワークショップ

南山大学内のロゴスセンターに設置してある小型のパイプオルガン(1段鍵盤、ペダル、7ストップ)を弾いてみませんか?触ってみるだけでもOK、ミニレッスンもOKです。オルガンと一緒に演奏してみたい楽器や歌の持ち込みも大歓迎!(楽譜は各自お持ちください。)8人程度の小グループで約50分のワークショップを5回行います。詳しくは、裏面の申し込み方法をご覧ください。見学のみの参加は自由ですが、途中の入退場は不可能ですので見学をご希望するグループの開始時間にお越し下さい。

11/22日

カトリック
五反城教会

女性合唱&オルガン 「ミサ」

15:30開演 コンサート

ミサ曲はカトリック典礼の為に作曲されます。今回はミサの音楽的な要素を抜粋し、パイプオルガンソロ、そしてパイプオルガン伴奏の女声合唱で再現します。ヨーロッパ各地ロマン派の作曲家の作品を集めた、心に優しい、しかし聴きごたえのあるプログラムです。

- ◆ J. ラインベルガー 女声合唱とオルガンのためのミサ 短調 op.187
- ◆ Al. ギルマン 奉納唱
- ◆ L. ヴィエルネ 拝領唱
- ◆ M. レーガー テ・デウム

女声合唱 ◆ かの子会 指揮 ◆ 加藤典子 オルガン伴奏 ◆ 吉田文
オルガンソロ ◆ トーマス・マイヤー=フィービヒ

11/29日

カトリック
五反城教会

「アンネの日記」(初演)

15:30開演 コンサート

今年はアンネ・フランクの生誕80周年です。ユダヤ人を弾圧するナチスの占領下、隠れ家という異常な環境の中で13歳から15歳を過ごしたアンネの人間的な成長の描写、そして平和への願いを込めて、Th. マイヤー=フィービヒが「名古屋オルガンの秋」のために書き下ろしました。特に、アンネと同世代の小学校高学年から中学生へ向けて書かれた作品ですが、「名古屋オルガンの秋」はこの新しいパイプオルガンの世界を、世代を超えて体験して欲しいと願っています。様々な舞台上で活躍する児玉たまみの語るアンネも聞きどころです!

ナレーション ◆ 児玉たまみ オルガン ◆ 吉田文

主催 ◆ 「名古屋オルガンの秋」実行委員会
協賛 ◆ オルガン工房ヴェリ・ベーター 株式会社日進衣料 サンメッセ株式会社 ブリティッシュアカデミー
協力 ◆ 神言修道会 カトリック五反城教会 ロゴスセンター
お問合せ先 ◆ ルンデ (052) 861-0162 mail@aya-yoshida.de 名古屋オルガンの秋ホームページ <http://organaki.exblog.jp>

全コンサートとワークショップ「みんなで弾こう、パイプオルガン!」は入場・参加無料。催し物後に今後の「オルガンの秋」実行のためのご任意の寄金をお願い致します。